

福島県放送伝道を支える会

フォローアップ係；〒963-8691 郵政事業郡山支店私書箱93号 TEL.024-932-0678/FAX.024-932-0685
 会計係；〒976-0053 相馬市小野字五反田50-1 TEL&FAX.0244-35-0153
 事務局；〒973-8408 いわき市内郷高坂町1-43-1 TEL&FAX.0246-36-3352(金成)



福音を満たすために



全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

あなたも、福島県放送伝道を支える会の働きを覚えて、祈り、
 献げて下さいませんか？

1. なぜ放送伝道が必要でしょうか？

- ◇ 放送がなければ、福音に接することのできない人々がいます。
- ◇ 信頼されている公共放送によって、教会の置かれているコミュニティーに福音を届けることができます。
- ◇ 気軽に番組を紹介することができ、クリスチャンの日常の伝道の道具になります。

2. 用いてください

- ◇ 番組を見てください。番組を知らせてください。
 録画して差し上げてください。
 話題にして話し合ってください。
- ◇ メッセージ集、ビデオ、カセットをプレゼントや、家庭集会・伝道集会にご利用ください。

3. お祈り下さい

- ◇ ひとりでも多くの方が番組にお便りを下さるよう。
- ◇ お便りをくださった方々のフォローアップのために。聖書通信講座→教会→キリストへと導かれるよう。
- ◇ 放送のために必要な費用(ライフ・ラインを放送するため約60万円/月が必要)が満たされるよう。

- ◆.....◆
- ☆ ライフ・ライン放送中の教会CM、ご覧になりましたか？
 - ☆ 福島県放送伝道を支える会のホームページご覧になりましたか？
<http://lifeline-fukushima.com/>
 - ☆ PBAのDVDビデオサービスも是非、ご利用下さい！好評です。

「福島県放送伝道を支える会」の歩み

1. 福島県放送伝道を支える会の成立

かつて、「十字架の時間」というラジオ番組をラジオ福島から放送していたが、しばらく放送が途絶えていた。しかし、「福島県の放送を私たちの手で」という大きなビジョンを掲げて、小野芳枝師（東洋福音宣教会）が中心になって、福島県内の諸教会に呼びかけ、1年余りの準備期間を経て、1970年3月29日（日）より、ラジオ福島から「世の光」を放送開始した。放送開始当初の「福島県ラジオ放送準備委員会」には、坂本勝重師（日本イエス・キリスト教団郡山キリスト共同教会）、富岡家一師（東北伝道隊会津聖書教会）、栗原隆師（東洋福音宣教会湯本キリスト福音教会）、グレンス・ジョンズ師（石川荒町キリスト教会）、A・ブルスタード師（東洋福音宣教会）、小野芳枝師（東洋福音宣教会好間キリスト福音教会）が名前を連ねている。当時、毎週日曜日午後7時からの15分番組を放送するために、月額10万円の目標献金額が掲げられていた（内訳；電波料5万円、制作費1万円、フォローアップ費3万円、その他1万円）。また、この働きのために、東洋福音宣教会の宣教団体が、大きな重荷を負ってくださった。ノルウェーの1信徒が、このラジオ放送のために、当時の金額で、35万円をささげて下さったことなどが、過去の資料の中に記録されている。以来、ラジオ放送を通して、1996年まで、27年間、「世の光」を放送した。その間、デイリー世の光とウィークリー世の光の両方を放送する時代を経て、経済的な理由から、デイリー世の光のみ放送と変遷はあった。

2. テレビ放送の開始

1993年、野田信光兄（創世グループ取締役）が、PBAを通して、「3年間、電波料を献金するから、是非、福島県でテレ

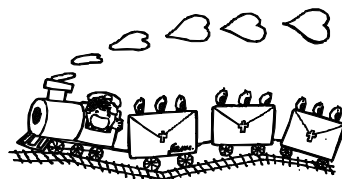
ビ伝道を！」と呼びかけてくださり、当時、福島県放送伝道を支える会の委員長であった原匡邦師（日本イエス・キリスト教団笹谷教会）が中心になって、テレビ伝道の可能性を探った。野田兄弟との話し合いを通して、委員全員に、これは主からのチャレンジであるという確信が与えられ、臨時委員会、協力教会へのアンケート、臨時総会等を経て、1993年11月6日（土）、福島放送（KFB）より、「ライブ・ライン」放送が開始された。テレビ放送開始時の委員は、原匡邦師（委員長）、後藤正嗣師（会計）、土屋信二師（書記）、富岡家一師、小野芳枝師（フォローアップ）であった。

3. テレビ放送開始から現在まで

テレビ放送が開始されると、反響は非常に大きく、年間の献金額は倍増し、視聴者からの反応も、目を見張るものがあった。

一方、ラジオ放送のための献金は激減し、アンケート調査や、2年にわたる激論を経て、1996年の総会で、テレビ放送一本に絞ることが決定された。ラジオ放送の献金窓口は残し、献金が200万円を越えた段階で、期間を限定して放送をすることとした。この決定に従って、2001年1月～2002年3月まで、ウィークリー世の光が放送された。現在も、ラジオ放送のための献金は継続されている。

原匡邦師が委員長の時に、テレビ放送がスタートしたが、その後、鳥井健男師（日本イエス・キリスト教団郡山キリスト共同教会）、後藤正嗣師（保守バプテスト同盟牧羊キリスト教会）と委員長が引き継がれて、現在の福島県放送伝道を支える会が発展してきた。



「福島県放送伝道を支える会」規約

第1条 名 称

本会は「福島県放送伝道を支える会」と称する。

第2条 事 務 所

本会の事務所は委員長所属の教会に置く。

第3条 信仰的立場

旧新約66巻からなる聖書は、それぞれの著者が、神の靈感によって記したものであり、神が救いについて人々に啓示しようとされた一切の事を含み、信仰と生活との唯一の規範である。

第4条 目 的

本会は、「福島県における福音放送」によって、県内の伝道を推進することを目的とする。

第5条 事 業

本会は、第4条の目的遂行のため次の事業を行う。

- 1) 会員の募集と献金
- 2) 会員による祈りの力の結集、宣伝の強化、フォローアップの強化。
- 3) その他、必要な事業を行う。

第6条 会 員

本会の会員は、本会の信仰的立場、目的に同意するもので、定期的な献金（月額、年額）をもって、本会の事業を援助するものとする。会員は次の2種類とするが、議決権は（1）の会員のみとする。

- (1) 協力教会（各個教会）
- (2) 賛助会員（個人・団体）

第7条 総 会

本会の総会は年1回、協力会員の1/3以上の出席をもって行う。議決は出席会員の過半数の同意をもって行う。規則改正は2/3以上とする。

第8条 委 員 会

本会の実務は選任された各地区委員によって行う。任期は2年として再選を妨げない。ただし、委員長は2期までとする。

委員会は年1回以上開き、次の職務を分担する。

運営委員会として、委員長1名、書記1名、会計1名、フォローアップ係1名、その他・監査2名（地区委員外）を置く。

委員会は、その職務を補佐するための主事を委嘱することが出来る。

第9条 財 務

本会の費用は、献金の内からこれをまかなう。

その会計年度は、1月1日から12月31日までとする。

(2007年3月6日 改正)



テレビ放送・ラジオ放送のお便り紹介



院に行くのが精いっぱいのは、旅行した気分楽しく見えています。

(会津若松市)

ライフ・ラインのお便り

◇関根先生のわかりやすいメッセージで良く伝わりました。(伊達市)

◇先生方のメッセージで励まされています。(郡山市)

◇50才だけど、わが人生にすごく迷いがある、悩んでいます。こんな毎日では、心が不安です。いつも、何か、心が安定していない。・・・封書で相談とかできるでしょうか？質問になってしまいました。・・・すみません。苦痛なので・・・。(石川郡)

◇私はこの番組を見るために一カ月分のテレビの予約をしてみています。昨年 長男を突然亡くして未だに悲しみから抜けられないでおります。キリストの本も キリストに関する DVD も持っておりますが、なかなか受け入れられず ただキリスト教会先生方のお話お聞きしているのは好きなんです。(福島市)

◇毎週、ビデオにとり、ひとり心静かに、見させていただいております。今回は二回聞きましたがもっと聞いてみたいと思いました。(福島市)

◇・・・ライフラインのつどいの時の、岩井牧師、相変わらず、心にしみるお話でした。(福島市)

◇暑くなりましたね。皆様お元気ですか。ライフラインは毎週欠かさず拝見しております。・・・毎週 ライフラインに出演される方の話を聞いていると、相手を思いやる心がひしひしと感じられ温もりを感じます。・・・今月の歌もとてもさわやかで大好きです。ずっと前のとかもっておいてたまに聞いています。その時の風景も沖縄だったり北海道だったりとてもきれいで こんなところに行ってみたいな～と思って見てます。現実には病

世の光いきいきタイムのお便り

◇いつもためになるお話、毎週楽しみに聞いております。友人がいつも「ものみの塔」の冊子を持ってきてくれます。当たり前のことを言っているのですが、人間なかなかできない(忘れている)です。(須賀川市)

◇いつも、正座する気持ちで聞いています。(須賀川市)

◇みなさま方こんにちは。毎週毎週放送さいておりますね。よのひかり放送はじまるとき朝早くおきてラジオに耳をかたむけてゆっくりと休めて心身ともにリラックスできますね。本当にすばらしい放送から心の安らぎと元気とパワーもらってますね。(いわき市)

